

アイヴィス創立 20 周年記念の会 ご挨拶（スピーチ原稿）

株式会社アイヴィス  
代表取締役 石和田 雄二

ご来賓の皆様、

本日はお忙しい中、弊社の「創業 20 周年記念の会」にご臨席賜り、誠に有難うございます。

皆様から頂いた長年に亘るご厚誼、ご支援ご鞭撻により、弊社はここに創業 20 周年を迎えることが出来ました。

心から感謝と御礼を申し上げます。

省みれば、

創業の 88 年は昭和の最後の年でバブルがピークアウトした年です。

SE として担当した最初の機種：ユニバック 11 シリーズに因み、大安吉日の 11 月 10 日「イレブンテン」に会社を立ち上げました。

最初は、社員 2 人と外部の協力技術者 1 人の 3 人でした。

蒲田の富士通ディーラー、ソレキア様の事務所に間借りし、会社作りと SE としての実業務に明け暮れ、土日無く働きました。深夜遅く、バブルの余韻漂う駅前のラーメン屋で一日の反省会、そのままサウナで寝泊りしたことなど、懐かしく思い出します。

翌平成元年にはサーボモーター製造の日機電装様のご支援を受け、川崎市の鷺沼に開発センターを開設、創業メンバー 10 名が集まって会社の基礎が出来ました。

竹芝に移った 90 年頃から、新卒技術者の採用に本腰を入れます。社員は年間 10 人 20 人と増えますが先輩の指導が厳しかったのか、定着率悪く、100 人規模になったのが 97 年、200 人が 2000 年、漸く 350 名を越えたのが、20 年目の今年です。平均年齢は 30 歳以下、常に組織の若さと活力は維持しています。

当社が背伸びしつつ、特段の苦勞もせず今日を迎えられたのは、時代の運に恵まれたのと皆様方に活躍の場を作って頂いたからです。バブル崩壊後の平成不況以降、前後 3 回景気の底を経験しました。93 年、98 年、03 年、ほぼ 5 年単位です。

93年は、EWS版 CAD/CAM 市場が成長期を迎えた時期、  
構造不況で仕事が不足していた時、  
日本ユニシス様と東レ様から次世代 CAD 開発の場を作って頂きました。  
98年は、インターネットと Windows\_PC が急成長を始めた時期、  
良質の仕事がなく、資金繰りに悩んだ時、  
ユニシスのポータル構築と IPA の公募、銀行融資に助けられました。  
03年は、オープン・ソースとモバイル・ネットが立ち上がった時期、  
若い社員が増え、成長飛躍の為に一括業務が必要な時、  
NTT\_DATA 系の NI+C 様とトヨタ直系 TCS 様にチャンス頂きました。  
バブル崩壊後の困難な時代に、  
ソフト開発という仕事と真剣に取り組むだけで成長して来られたのは、  
皆様の温かいご支援があったからであり、感謝の気持ちで一杯です。

そして今、03年から5年目、再び景気後退期に入りつつあります。  
医療、環境、エネルギーなど、新時代の社会的な要請がある時期、  
当社も、景気回復後の躍進を目指し、安定成長事業が必要な時、  
仲間のグループ企業から出会いと挑戦への舞台を作って貰いました。

当社の技術的ルーツは、ユニシスの CAD/CAM 系情報処理技術と、  
トヨタ自動車の設計生産向エンジニアリング系の実践応用技術です。  
当社はその課題解決を成長の糧とし、達成を誇りとし、  
そこで学んだ無形の学習成果を企業文化として発展させてきました。

トヨタ関連のお仕事は創業以来ユニシスの下で行って参りましたが、  
96年に支社開設後、課題によって TCS から直接仕事を頂きました。  
契約先とは別に、思い出に残る仕事はいくつかあります。  
基盤系では、統合 CAD と CATIA 移行、そして DYNAVISTA 開発、  
設計ツールでは、複合面オフセット、面の達人、DSR、3DG など、  
大規模システム構築では、PLM 系の技術 SMS、TIOS などです。

エンジニアリング分野で学んだ経験を新しい分野に広げて来ました。  
1つは、社会性が高く、景気に左右され難い社会公共分野、  
NTT DATA 様や日経就職ナビの DISCO 様などのシステム開発です。  
もう1つは、社会性と共に次世代 IT の可能性の芽が潜む研究分野、  
日本海事協会様では、船級認定上の構造評価システムの開発を行い、  
JAXA の複合材解析や理研、大学などの研究支援も担当しています。

現在の当社は、エンジニアリング分野だけでなく、製造流通、情報通信、社会公共、電子商取引、医療情報など種々の IT サービスを、主に大手 IT ベンダーの下で担当しています。昨年、製造上流の IT コンサル、IVIS\_Solutions を設立しました。当社に欠けていた顧客提案力がグループとして強化された結果、総合力が一段と向上し、お客様との新たな出会いも生まれました。そして今、臨床検査機器の A&T 様、環境・エネルギーの IHI 様、両社のシステム開発を担当、今まさに開発のピークを迎えています。

当社の開発の主体は、入社 5~10 年の若きリーダー、SE 達です。創業 20 周年は、往時の若き創業メンバーが勤続 20 年を迎える年、労を厭わぬ努力と絶えざる挑戦、彼らこそ当社発展の原動力でした。会社を代表、又、後輩の若い社員達の気持ちも代弁して、創業メンバーのこの間の努力と功績に対し、心から謝意を表します。

会社にとっては、しかし、20 周年は 1 つの通過点であり、新たな目標への出発点です。これからも、IT サービス企業としての基軸を忘れず、変化に適応、現実に学び、未来を信じ新分野に挑戦して行かなくてはなりません。伝統の分野でも、技術を深化させ、新たな顧客価値の実現を追求、信用の上にアイヴィスの未来の可能性を拓いて行く必要があります。

お客様から信頼される企業であり続けることを目標に、これからも社員一同、果すべき役割を自覚、努力して参る所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

本日はお世話になった関係者の皆様への感謝の集いでもあります。この後、20 周年勤続社員の記念表彰を行います。式後、芸大生によるヴァイオリン・デュオ演奏会を用意致しました。後半は、場所を移して頂きスライドショーと立食パーティーです。ささやかな宴ではありますが、ご来賓の皆様には、お寛ぎ頂き、ご歓談頂ければ、幸いに存じます。最後に、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、

私の挨拶とさせていただきます。(おわり)